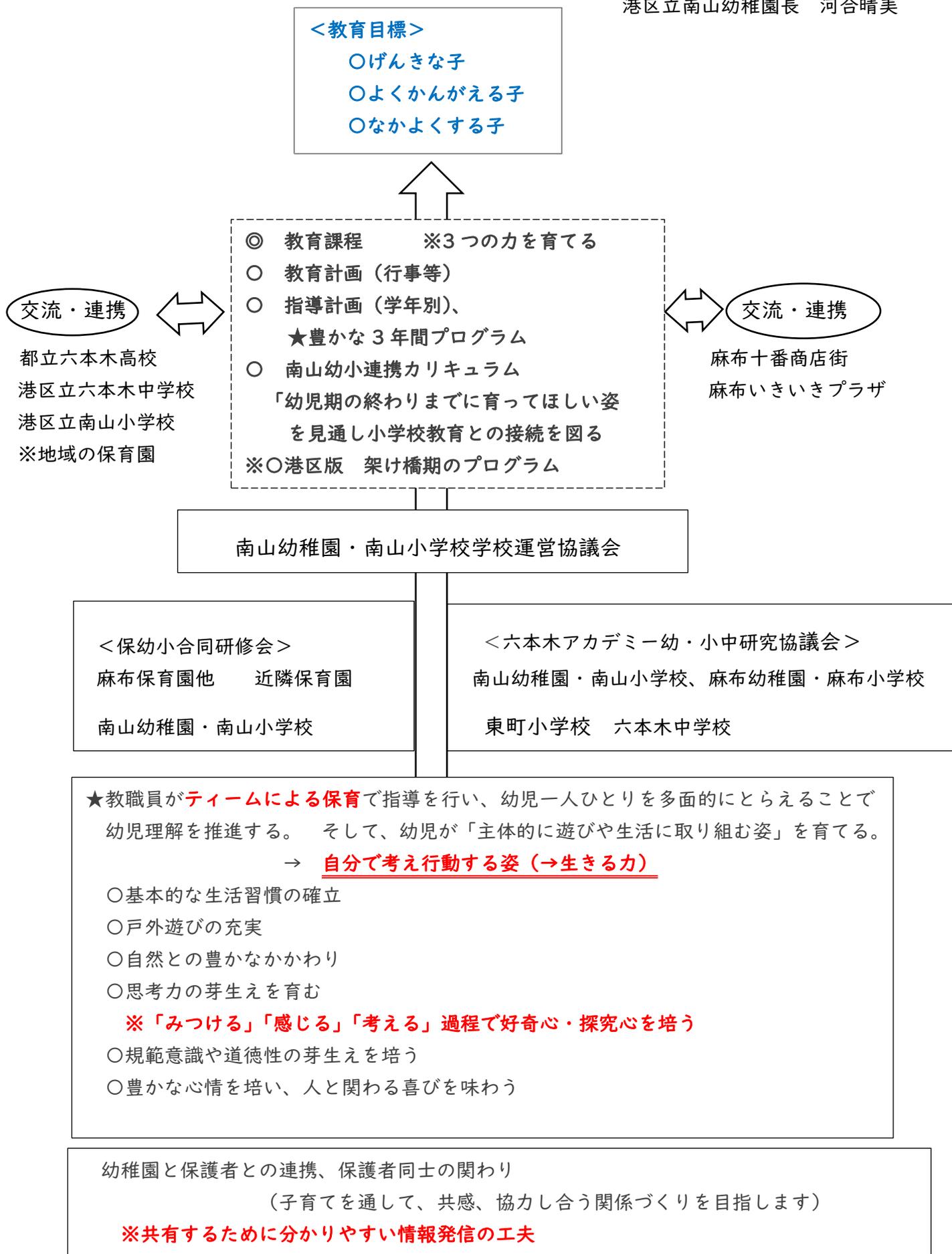


# 令和7年度 南山幼稚園の教育（幼稚園経営計画・経営方針）

令和7年4月10日  
港区立南山幼稚園長 河合晴美



南山幼稚園は、今年度創立91周年を迎えます。長年地域に愛され、見守られながら教育活動を行っている本園が100周年に向けての1年目、91周年として、幼児教育の質の向上（研究奨励園、すくわくプログラムの推進）と伝統文化をつなぐ年にします。

幼稚園では、設定した教育目標を目指し「教育課程」を編成し、具体的に実現するために「教育計画」「指導計画」を作成し、毎年改善しながら実施しています。

また、本園の特徴である南山小学校と同敷地内に位置する利点は、「南山幼小連携カリキュラム」を作成により、小学校教育との接続を図るものとなっています。今年度は、新たに「港区版 架け橋プログラム」も作成され、より接続の時期に注目し互いの教育活動を行っていきます。

地域の方、有識者、近隣の関係機関の方による「南山幼稚園・南山小学校学校運営協議会」を通して、南山幼稚園の教育や南山幼稚園の幼児たちに対し、ご理解とご支援をいただいています。今後、さらにご意見をいただいたことを幼稚園運営に生かしながら、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある幼稚園づくり」を進めてまいります。

教員は、区の教育研究会他、保幼小合同協議会、六本木アカデミー幼・小中研究協議会等による研修を重ねています。他校種の教員同士、意見を交わし協議を進める中で、自身の指導力向上を目指しています。

令和7年度の南山幼稚園は、「笑顔がひろがる南山幼稚園」を目指します。

#### ○幼児にとって

- ・教職員間がチームとして、一人ひとりの幼児に寄り添い、成長を考えます。
- ・学級、学年間の交流を大切に、自然に遊びや生活が伝わるようにするとともに、年上の幼児の姿がモデルとなることで「学び」につながるようにします。

#### ○保護者にとって

- ・保護者との連携を強化し、幼児の様子を伝え共有します。
- ・保護者間が楽しくコミュニケーションづくりができるように幼稚園が支えていきます。

#### ○教職員にとって

- ・指導の方向性を共有し、各学年の発達に応じた3年間の教育の中で指導を明確にします。。
- ・働き方改革を推進し、ワークライフバランスを保ち元気に過ごします。

南山幼稚園は、単学級、3学年の学級編制のため、教員同士が協力し合い、教育活動を行っています。園庭等活動場所が重なったときには、担任という枠ではなく、全幼児に対し注意を払い、安全で楽しい遊びが展開できるようにしています。そして、幼児に対する理解（分析）は、担任だけではなく、複数の教員による理解から、多面的にとらえる幼児理解を推進しています。そして、幼児期に大切な経験をする中で、幼児が主体的に遊びや生活に取り組む姿を育てていきます。

お子さんは、毎日幼稚園の中で様々なことを経験していますが、これらのことは、すべてお子さんから伝わるものでもありません。保護者の方に、お子さんがどのような生活をし、どのような様子であったかを伝える努力を惜しまずに取り組んでいきます。連携を取りながら、共にお子さんの成長を支えていきたいと思えます。また、分かりやすい情報発信をしていきます。

子育ての期間は、大変という印象がありますが、過ぎてしまうととても愛しい貴重な日々となります。このような特別な時期を過ごす保護者の方同士、同じ幼稚園に通う出会いも大切にしていきたいと思えます。お子さんを介して保護者の方同士もつながり、子育てやそれ以外のことでも共感し合い、協力し合う関係づくりで、親子共に楽しい日々を過ごすことができるように、力を尽くしてまいります。